

曲 明月  
QU Mingyue



Growing

ケヤキ

## Growing

修了作品の創作をきっかけに自分の魂の形について考えた。自らの魂の形についてどう思っているのか、どのような定義かについて、さまざまな人と交流したことでインスピレーションを得た。大学院では他人の魂を記号にして、その記号を木彫で作品を作るつもりだけども、考えていると、他人の気持ちが完全に理解できないので、感情を込めて他人の魂をテーマにした作品を作ることが不可能であることに気づいた。同時に自分自身の段階ごとに状態や感覚が違うことに気づき、作品で自分の感情を記録し続けることにした。

学部の時自分はいつも重くて、鬱のような気分になった、卒業した後、コロナも明け旅行を始めて、色々な場所に行けるようになった。美しい自然に癒やされ、自分が元気になっていることを感じた。それだけでなく、人生もよりゆたかになった。今回生命力があて、明るい気持ちを伝えて、学部卒制と全く違う作品を創ろうと考えている。修了制作の提案を考える時は筍を食べる季節でしたので、筍が気になって、調べて見たら成長スピードが非常に速く、一晩に10センチも成長できて、しかも生命力が強く、元気な植物だと知った。筍の生命力をヒントにして制作を展開した。

大学院一年の時病気になった、インターネットで関連情報を調べ、細胞に関する写真を見て、奇妙な魅力があった。ということで、筍の造形に細胞のような球体を彫る、細胞が体にいような感じを持ちたいと思い造形作品とした。